

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2017/08 前期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

特集 統一学校説明会 ～15年目・いよいよ間近！～

■統一学校説明会アンケートより

統一学校説明会は、様々な方面の教育関係者の多大なるご協力の下、これまでの先輩たちの熱意や教職員の尽力、先方との良好な関係、統一学校説明会の歴史など目に見えない蓄積のおかげで今日まで継続することができています。このことを念頭に置き、当日は感謝の気持ちをもって、湖陵生として自覚ある立ち振る舞いを期待したいと思います。そして、伝統ある湖陵高校に相応しい活気のある1日にして欲しいと切に願っています。

各学校・事業所は「多くの高校生に情報を発信し、より優秀で意欲的な生徒に入学してもらおう」ためにも湖陵高校に来てくれています。このことは、皆さんには大きな期待を寄せられていることの証しでもあります。この期待を今年も裏切らないように、皆さんには万全の準備で当日を迎えてもらいたいと考えています。

さて、より良い統一学校説明会を作り上げていくために、参加していただいている学校・事業所には毎年アンケートにご協力頂いてます。このアンケート結果を踏まえてマイナーチェンジを重ねて年々バージョンアップしているのがこの統一学校説明会です。

アンケートの中には生徒の皆さんにはどうすることもできない課題や反省点なども含まれていますが、皆さんの意識や行動ひとつで大きく変えられるものもあります。この部分にスポットを当ててみることで、当日の臨み方について、今一度考えてもらいたいと思います。

では、昨年度のアンケートの回答の一部を紹介します。

1. 統一学校説明会に対する感想

- ・多くの大学の情報を生徒に知らせることができる大変良い方法である。
- ・今年もたくさんの生徒さんとお話しができ、大変参考になりました。
- ・やる気のある学校とお話でき、とても有意義でした。
- ・高校生様が、今お悩みのこと、必要としている情報を再確認させていただくことができました。
- ・資料も机上にご用意頂きありがとうございます。
- ・他大学さんとの接点が多い企画で、都内での同様の会とは全く雰囲気が異なります。
- ・先生・生徒さんもととても意欲的でありがたいです。
- ・高校の方針および生徒の様子などが直感的に受け止められる企画だと思います。
- ・大学側にとっても貴重なアピールの機会であり、是非来年も参加したいです。

2. 本校生徒の態度

- ・説明を熱心に聞き、質問も活発にしてくれた。
- ・他地区、他校の状況と比較して、現状の置かれている危機感を持っている生徒が多かった(学力面において)。

- ・礼儀正しくしっかりした生徒が多いです。
- ・昨年対応した生徒が、アドバイスした内容を報告してくれ感心しました。事前に調べがしっかりしており、素晴らしい質の相談内容でした。
- ・コミュニケーション能力の高い生徒さんが多く、大変感心いたしました。
- ・好印象です。しっかりと進路を考えている生徒さんが多かった気がします。
- ・真面目で真剣であり、道東一の名門校の歴史を感じました。日頃の先生方の御指導の賜物と存じます。
- ・自分の意見を言える生徒さんが多いと感じました。
- ・3年になると、自覚も高く、積極性を感じられる。
- ・話しの内容をよく聴いています。しっかりメモをとることも忘れずに
- ・3年生は良かったが、1・2年生はあまり反応がない生徒も多く、本当に聞きたくて興味があって来ていたのか分からなかった
- ・今年も参加させていただき、ありがとうございました。昨年話した生徒さんがブースに来てくださり、「もっと具体的に聞きたい」と積極的にお話しをすることができました。次年度も参加させていただきたいと思います。
- ・毎年、1年生の中に、まだ何も決めていないと言われる生徒さんがいらっしゃるのですが、今年はいらっしゃいませんでした。先生方がご指導をきちんとされている印象を受けました。
- ・本日はありがとうございました。沢山の生徒さんとお話することが出来大変嬉しく思います。次年度以降も是非、引き続きお声を掛けていただければと存じます。
- ・事前学習で、学んだものをそのまままくのは、どうかと思う。
- ・1年生から3年生まで、進路に対する事前準備がしっかりとできていて、目的もある程度はしっかりしているのととても説明がしやすかったです。

これらから、担当者は統一学校説明会について

- ・心待ちにしている
- ・有意義なものと感じている
- ・湖陵生は礼儀正しく、真面目で学年が上がるごとに成長している

と感じていることなどを読み取れると思います。

これまでも多くの先輩たちが、この場での出会いをきっかけにして自分の進路をより深く考えて、進路実現をしていきました。今年も皆さん一人ひとりが明確な目的をもって行動し、先輩たちに続きましょう。

■統一学校説明会当日に向けて

まず統一学校説明会は

「自分の思いを実現させるために、行動する場」

であることをしっかり理解しましょう。自分で自分を動かすことでしか未来を変えられないことを覚えておきましょう。頑張り湖陵生！

1・2年生の皆さんには、「思いを実現させる」ための第一歩として、大学調べが課されていることと思います。この課題の目的は、大学等の調べ方を知り、将来的には自分の意志決定に必要な情報を確実に入手し、それらと比較・吟味できるようにすることです。

皆さんは事前学習で次のようなことを知ることができたのではないのでしょうか。

- ① アドミッションポリシーを知り求められている学生像を知る
- ② 所在地、学部・学科、学校の規模、学費、就職実績、特徴等について知る
- ③ 入試方式、受験教科、倍率、合格ボーダー等について知る

他にも、学校案内や学校ホームページ、受験情報誌などから様々な情報に触れることができましたことと思います。事前学習を通じて、見たこと聞いたことのない学部・学科や学問分野、専門用語の数々、そして職業や資格、サークル、入試方式など様々なキーワードが目飛び込んで来たことと思います。逆に言うと、まだまだ知らないことがたくさんあるということに気づかされるはずです。これらの不明なところや疑問点、もっと知りたいと思うことを予め整理して、これらを解消できるようにしましょう。当日は知識や経験もったその道に精通した専門の方々に来校されます。たくさんの方々と関わりをもつよう心がけより多くものを吸収する機会にして下さい。

■進路希望決定に向けて

中には何も調べず、とにかく「進路を決めなければ」と焦る人がいますが、焦るだけでは進路は決まりません。進路希望の決定に関しては、人それぞれの歩幅があり、同じ歩数歩いたとしても、歩幅が大きい人は早く自分の進路を決められますが、歩幅が小さい人はなかなか進路希望決定には至らないようです。進路希望を早く決めたから良いというわけではありませんが、何も動かずに独りよがりな思いだけで進路希望が決まることはないので、決まっていな場合は、さらに自分を見つめ直し、たくさんのことを考えたり、調べたりする必要があります。将来の進路決定に向けて、何よりも重要なことは、色々なことを「知る・考える」ということと「実際に行動に移す」ということです。この機会が、将来の方向性を決めるきっかけになるとよいですね。

反面、「進路希望が決まっている人」にも不安材料があります。この大学に行きたいから、国公立大学しか行かない（行けない）からなどの理由で一部のブースを回るだけで満足してしまうことです。自分が志した学問分野についてももう少し深く掘り下げてもらうために多くのブースに足を運んでもらいたいものです。例えば、北大の工学部を志望している生徒は、北大・筑波大・岩手大・弘前大あたりのブースだけではなく、道内国公立大である室蘭工大・北見工大、はこだて未来大はもちろん、工学部を有する私立大学も必ず回るようにしましょう。成績が順調に伸びなかった時のことやセンター試験で失敗した時のこと、後期日程のことまで幅広く考えて、柔軟に対応できるよう下準備を進めていくことが必要です。また、志望校を決める場合に、どうしても知名度や入試(入口)における偏差値といった物差しにとられてしまいがちになりますが、それとは別に、学生を成長させてくれる大学かどうか、社会的な評価や国際的な評価、卒業生(出口)の評価、学校独自の取り組みなど様々な視点を取り入れて考えるようにしましょう。

統一学校説明会を間近に控え、改めてポイントを確認しましょう。

Point1 お客様には、最大限の礼儀を尽くすこと。 質問内容を事前に準備しておくこと。

皆さんには、お客様には最大限の礼儀を尽くすことを求めます。「礼儀を尽くす」とは、単に挨拶をするというものだけではなく、学校についての下調べ等なども含みます。身だしなみや言葉遣い、話を聞く姿勢については言うまでもありません。予備知識をきちんと持ち合わせて当日に臨む方がはるかに話の内容が捉えやすくなります。

Point2 初対面の大人と、積極的にコミュニケーションを図る。

「主体的に行動する」こと忘れないで下さい。当日は、80 以上ものブースが並び、100 名を超える大学関係者等が第1 体育館に集います。初対面の大人の方々がたくさん来られます。人見知りをする人や話をすることが苦手な人もたくさんいると思いますが、当日は、ちよっ

と勇気を出して積極的に行動してみてください。友達と一緒に質問できるかも知れません。受け身の姿勢でブースに座ると、一方的に説明を聞いて終わってしまうことになりかねません。準備ができていれば、理解も深まり、わからないことがはっきりし、質問も出来るようになります。皆さんが積極的に動くことによって、思わぬ情報が得られたりするものです。くれぐれも、初めて目にするパンフレットに気を取られ、話に集中できなくなるような事態は厳禁です。

Point3 自分の未来については、複数のシュミレーションをしよう。

国公立大学入試においては、前期が第1 志望、中期や後期が第2 志望という出願が一般的です。国公立大学の出願は、センター試験での得点率によって志望を変更する可能性もあります。私立大学入試においては、挑戦校、実力相応校、滑り止め校などのように複数の受験パターンを検討します。

これと同じように、「自分の将来像も複数考える」ことになります。説明会では、同じ目標を叶えるためにはどのようなルートがあるのかを模索したり、同じ学部系列で複数の大学に足を運ぶのもよいでしょう。ひょっとすると、学部名から見えてこないところに、自分の学びたい分野が隠れているかもしれません。また地域を広げるしてみるのも一つの手です。世の中には、皆さんの能力を必要としていたり、皆さんが活躍・貢献できるステージがたくさんあることに気がつくことも大切です。

おまけ Point 将来の夢は、「考える過程」によって生まれる。 高校時代に将来を考えた経験が、大学生生活の学びや諸活動に影響する。

将来の目標や夢は、人やもの、経験や憧れなど様々なものとの関わりから形成されていくものです。これは、自分のことを考えたり、調べるという過程から生まれると言っても過言ではありません。統一学校説明会は、この過程を体験するよい機会になるはずです。

大学生を調査したデータによると、自分の生き方を考えられることと、学習等の姿勢とは深く関係しているようです。将来の目標がある人は、授業の出席、予習や復習、研究や諸活動(部活・サークル・アルバイト)のすべてに意欲的であるとの結果が出ています。反対に、大学入学時に目標のない学生は、卒業時でもやりたいことがわからないままなのだそうです。

高校時代に将来を考える習慣をつけておくことが、そのまま大学生活にもつながっていくのです。

■さまざまなブースを活用しよう

皆さんの様々なニーズに対応できるよう、大学・短大・専門学校以外にも予備校、教育関連企業のブースも用意されています。学校情報以外にも日頃の学習や受験について、さらには就職や人生等について、様々な立場や経験から貴重なお話を聞いたり、相談することができます。これらのブースも積極的に活用して下さい。

- ・当日は冊子等を持ち帰るためのカバン・袋等を用意しましょう。
- ・1・2年生への連絡
 - ①統一学校説明会前日(8/24(木))7時間目LHRの時間に、会場設営。
 - ②統一学校説明会当日(8/25(金))は終了後、会場復元作業がありますので、16:30 ごろの放課になります。保護者の方にも連絡をお願いします。